

平成 28 年度

社会福祉法人 湖南市社会福祉協議会

事 業 報 告

= 事業総括 =

少子・超高齢社会を迎えていたる状況下、2017年1月5日、日本老年学会・日本老年医学会のワーキンググループが、高齢者の定義を「65歳以上」から「75歳以上」に引き上げ、それより若い人々は就労やボランティアなどの社会参加を促すべきという提言を発表しました。それは、高齢者とは言え、まだまだ若く活動的な人々を高齢者扱いすることへの躊躇があることなどから、社会の担い手としてモチベーションをもった存在としての意義を主張したもので、社会に投げかけた心理的影響の高いメッセージであったと思われます。

一方、地域福祉の担い手である社会福祉法人については、社会福祉制度改革によって、その組織体制とガバナンス・内部統制の強化が求められているところです。昨年、本会において発生した事件も、まさにその課題点を確実に解消すべく、会員、利用者の方々をはじめ市民の皆様の信用・信頼と安心を取り戻すことを第一義的に捉え、地域とともに歩む法人として事業を今後とも実施していきます。

地域での見守り活動や居場所づくり、まちづくり協議会や学区民生委員児童委員協議会、さらにボランティアとの協働で、地域のさまざまな福祉活動の展開と支援など、地域福祉活動を進めてきました。

具体的には、子どもの貧困について、「知ってもらうことから」フォーラムを開催し、自分たちにできることと一緒に考える機会を作り、「子ども食堂」の活動について啓発活動と活動支援を行ってきました。また、介護保険事業や障がい者総合支援事業などのサービス事業も充実させ、平成29年度からスタートとする介護予防日常生活支援総合事業への移行準備のため、利用者ニーズを把握し、安心と思いやりのあるサービスを提供していきます。

本会組織体制が市民の信頼と期待に応え、また本会の認知度を高めるために本会活動の見える化にも引き続き努力していきます。

A 社会福祉事業

1. 石部老人福祉センター管理事業 【 7,462,423 円 】

(1) 石部老人福祉センター管理事業（指定管理）

市（高齢福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務、また施設事業として高齢者を対象に風呂の利用、サロンの開催、健康推進事業などを行った。

= 貸館状況 =

年間延べ 617 件	<昨年 延べ 728 件>
平均 約 51 件／月 利用	

= “和の湯” 利用状況（利用料 1 回 100 円）=

年間延べ 1,632 人	<昨年 延べ 1,684 人>
平均 約 136 人／月 利用	

= 軽運動場管理事業 =

年間延べ 656 件	<昨年 延べ 717 件>
平均 約 55 件／月 利用	

○ ふれあいサロン「まめ講」の開催

石部老人福祉センターを拠点に介護予防、仲間づくりためのサロンをボランティアの協力をいただきながら開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 6 月より毎月第 2 金曜日（2 月は雪の為、中止）

年間 9 回開催
延べ 360 人参加 <昨年延べ 425 人> 平均約 40 人／回参加

○ 老人福祉センターまつりの開催

老人福祉センター並びに軽運動場の利用促進と利用者同士の交流を図るため、施設利用者（グループ）によるステージ発表や作品展示、また体験コーナー、模擬店を設置した。

実施場所 石部老人福祉センター、石部軽運動場

開催日 平成 28 年 5 月 29 日（日）

来場者 約 800 人

協力団体 41 団体

○老人福祉センター「将棋大会」の開催

将棋を通して、思考力・集中力・決断力など技能の向上に加え、人との交流を深めながら愛好者の増加をめざし開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開催日 平成 28 年 11 月 10 日 (木)

対局参加者 17 人

○シニア応援講座の開催

高齢者が自ら学び、生きがい探しや仲間づくりなど、世代交流をしながら地域づくりに楽しく参加できる「シニア応援講座」を開催した。

① 湖南市の歴史講座 (6/14 ~ 5 回シリーズ)・生涯学習課共催)

参加者 21 名

② そば打ち教室 (11/24) (石部まちづくりセンター共催)

参加者 8 名

③ 生芋こんにゃく作り体験 (12/20) 参加者 20 名

④ ブリザードフラワー (12/7)

午前の部 参加者 11 名 昼の部 参加者 11 名

午後の部 参加者 16 名

○高齢者いきいき教室

60 歳以上の方を対象に健康維持、介護予防、仲間づくりのための教室を開催した。

実施場所 石部軽運動場 (和の家)

開設日 毎週月曜日午前 登録者 9 名 <昨年 11 名>
年間 44 回開催 延べ 223 人参加 <昨年 延べ 368 人>
平均 5 人／日、 約 18 人／月 参加

2. 生活福祉事業 【 4,755,901 円 】

(1) 生活福祉貸付事業

《生活福祉資金貸付事業》

生活に困窮した方(世帯)からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食料品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行った。

○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付 (市)

種類	件数	貸付
生活保護受給予定世帯繫ぎ小口資金	13 <昨年 12 >	

○生活緊急一時としての貸付（県）

件 数 種 類	相 談	貸 付
緊急小口資金	65 <昨年 26>	5 <昨年 4>
臨時特例つなぎ資金	2 <昨年 0>	0 <昨年 0>

○失業による生活貸付（県）

件 数 種 類	相 談	貸 付
総合支援資金	27 <昨年 8>	3 <昨年 0>

○福祉による目的に応じた貸付（県）

件 数 種 類	相 談	貸 付
福祉資金	45 <昨年 14>	5 <昨年 1>
教育支援	39 <昨年 5>	9 <昨年 1>

《行路者旅費貸付事業》

行路者に対する旅費として、切符により貸し付けた。

10 件 (内訳 柚植方面 2 件 草津方面 8 件) <昨年 10 件>

(2) 地域福祉権利擁護事業

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行った。

・契約件数：56 件 <昨年 63 件>

内訳：認知症高齢者等 6 件 知的障がい者等 28 件

精神障がい者等 20 件 その他 2 件

・年度内新規契約：2 件 (認知 1、精神 1)

解約：9 件 (認知 6、知的 3)

問い合わせ、相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問い合わせ	15	10	5	21	51
問い合わせ初回相談	6	0	0	1	7
相談援助	819	1407	2039	148	4413
計	840	1417	2044	170	4471
<昨年度計>	(926)	(1100)	(1534)	(379)	(3939)

B 公益事業

1. 法人運営事業 【 74,961,425 円 】

(1) 本部事業

《法人運営事務》

○理事会議の開催

開催日	案 件	
28年5月26日	議案第1号	平成27年度事業報告、貸借対照表、財産目録、一般会計収支計算書について
	議案第2号	災害援護積立金積み立てについて
28年11月29日	議案第1号	定款の全部改定について
	議案第2号	居宅介護事業安定化基金の取り崩しについて
28年12月20日	議案第1号	定款の全部改定について
	議案第2号	給与規程の一部改正について
	議案第3号	事務局の組織と運営に関する規程の一部改正について
	議案第4号	居宅介護事業安定化基金の取り崩しについて
	議案第5号	定款施行細則の一部改正について
	議案第6号	評議員の選任について
29年2月28日	議案第1号	評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
	議案第2号	評議員選任・解任委員の選任について
	議案第3号	評議員候補者の選出について
29年3月22日	議案第1号	諸規程（経理規程、育児・介護休業等に関する規程）の改正について
	議案第2号	基金積立金（福祉基金、善意銀行基金積立金、居宅介護事業安定化積立金、生活困窮者支援基金）の取り崩しについて
	議案第3号	平成29年度事業計画、予算（一般会計収支計算書）について
	議案第4号	評議員候補者の選出について

○評議員会の開催

開催日	案 件	
28年5月27日	議案第1号	平成27年度事業報告、貸借対照表、財産目録、一般会計収支計算書について
	議案第2号	理事、監事の選任について
	議案第3号	居宅介護支援事業終了について
28年12月21日	議案第1号	定款の全部改定について
	議案第2号	理事の選任について
28年3月25日	議案第1号	平成29年度事業計画、予算（一般会計収支計算書）について

○監査の開催

開催日	おもな内容
28年5月13日	平成27年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○評議員選任・解任委員会

29年3月7日	評議員の選任について
29年3月30日	評議員の選任について

○地域福祉権利擁護事業不正支出・不適切な事務原因究明・再発防止策検討委員会

29年2月15日	不祥事事案の概要、原因究明について
29年3月16日	再発防止策、再生に向けて

○会費の納入依頼と徴収

7月 世帯会費依頼と徴収（ 6,055,597 円）

8月 法人・事業所会費依頼と徴収（ 694,000 円）

・高額会費（30,000 円以上）納入事業所の広告を本会広報紙に掲載

対象 6 社 掲載 4 社

2. 地域福祉事業 【 12,214,088 円 】

（1）地域福祉活動事業

《地域福祉活動推進事業》

○地域たまり場づくり事業

管理する施設での施設事業と目的に沿ったたまり場事業の実施

ふれあいの館	毎週月曜日 1 時 30 分より「ふれあいさろん」を開催（手芸・囲碁などを通して交流）
社会福祉センター	1 階ロビーでのコーナーとテレビの設置

○地域福祉支援事業

学区ごとに担当職員を配置し、まちづくり協議会活動等への協力や地域での支援活動を行った。

○地域見守り体制の構築

生活支援サポート（ボランティア 24 名）による地域での見守り活動を実施し、主に一人暮らし高齢者（利用者 16 名）を対象に見守り活動を行った。

《小地域福祉活動事業推進交付金事業》

まちづくり協議会が実施する小地域福祉活動を支援するため、交付金制度を設け、市内の全まちづくり協議会が交付金を活用した事業を実施された。

・交付金審査委員会の開催

開催日 4 月 27 日

(2) ボランティアセンター活動事業

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

情報提供

- ・平成 28 年度湖南市ボランティアセンター活動実績報告冊子 700 部
- ・社協広報「福祉の輪」のボランティアセンターだより
- ・市広報にてボランティア講座、シルバー教室などの参加者募集及びボランティアまつりお知らせなどを掲載

《ボランティア活動に対する相談、助言と調整》

ボランティア依頼と調整

市内福祉施設、高齢者サロン、幼稚園、保育園、小中高等学校、子育てサロン、学童保育、まちづくりセンター、国際協会、自治会 など

《ボランティア講座の開催などによるボランティアの育成》

○生活支援サポート講座（全 5 回） 参加者延 75 名

○災害ボランティア運営サポート養成講座（全 3 回） 参加者延 156 名

講座終了後 每月第 3 金曜日 13 時 30 分より「災害ボランティアセンター運営隊定例会」開催

○障がい児支援ボランティア・スタッフ養成講座（全 3 回） 参加者 14 名

～終了後、ホリデースクール事業参加～

○中高生ボランティア体験（全 3 回） 参加者 19 名

【手話体験と一人暮らし高齢者のためのケーキと給食づくりと配食を体験】

○ボランティアの親子サロン (全 10 回) 31 組参加

○レイカディア大学ボランティア体験説明会

○市内小中高校の体験学習

下田小学校	4 年生 42 名	点字体験
岩根小学校	3 年生 40 名	車イス体験
三雲小学校	3 年生 70 名	点字・視覚障がい者のお話
石部南小学校	3 年生 36 名	点字・アイマスク体験

《ボランティア活動の組織化や交流の促進》

○ボランティア祭り 平成 28 年 11 月 3 日 (木)

広くボランティア活動の理解を深め、ボランティアとの交流、ボランティア同士の交流を図るため年 1 回開催。2,000 名を超える来場者があった。

《当日参加ボランティア》70 グループ 419 名 (前年度 431 名)

《一般体験コーナー参加人数》169 名 《景品引き換え》526 名 (前年度 432 名)

○国際交流活動

外国にルーツを持つ小中学生の学習お手伝い「Passo a Passo」を平成 29 年 3 月まで社会福祉センターで開催。毎週金曜日 18:30~20:00

《ボランティア活動基盤整備》

○ボランティア保険の加入

・ボランティア活動保険加入 829 名 (前年度 895 名)

・ふれあいサロン保険加入 39 名 (前年度 32 名)

○ボランティアグループへの活動助成

・74 団体に助成 (前年度 76 団体)

《その他》

○高齢者見守り活動事業

生活支援サポーターによる見守り活動事業の実施…年間 240 回

○備品貸し出し…車椅子、かるた、カロム、プロジェクターなど

○ゴーヤカーテンプロジェクト

ボランティアと市内 23 か所 (保育園 7 か所、幼稚園 5 か所、小学校 2 か所、児童施設 2 か所 (市外 1 か所含む)、高齢者施設 3 か所、公共施設 4 か所) にゴーヤのカーテンの普及を推進するため、種まき、苗作り、棚にする竹の切り出し、棚作り、花壇作り、追肥などをした。

○配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者に対し、ボランティアの協力のもとに手作りの昼食を配達した。

年間 23 回開催 延べ 1,423 個配食 <昨年計 1,495 個>

約 62 個／回 配食

なお、給食サービスで安否確認できなかつた一人暮らし高齢者に対して担当民生委員へ連絡して安否確認を依頼

○リサイクルコーナー・手作り品販売コーナーの設置

- ・古着を 1 着 100 円で、手芸ボランティアの作品を希望される方に購入いただいた。

○行事などへのボランティア参加協力

- ・障がい児ホリデースクール事業 ボランティア数 延 203 名(前年度 215 名)

(3) 広報活動事業

《広報発行事業》

○広報の発行

- ・平成 28 年 6 月発行 (通刊 29 号 新聞折込)
- ・平成 28 年 10 月発行 (通刊 30 号 新聞折込)
- ・平成 29 年 2 月発行 (通刊 31 号 新聞折込)
- ・ホームページの更新

○広報紙の配布

市内まちづくりセンターや県内社協へ広報を配布した。

(4) 助成事業

《地区活動助成事業》

社協会費の還元による各区への福祉活動助成

世帯会費を各区の前年度（平成 27 年度；5,894,973 円）の会費額の 20% を地域福祉活動のために還元した。（地域福祉活動奨励金）

還元額合計 1,180,100 円 <昨年 1,228,678 円>

《福祉団体活動助成事業》

市内の福祉関係団体に対し活動費を助成した。(10 団体)

《小地域福祉推進事業》

○石部地域での小地域福祉活動の推進

- ・福祉協力員の委嘱
- ・福祉協力員研修会の実施 4 月 15 日 (金)
- ・小地域福祉活動事業補助
ふれあいサロンの実施 8 地区 延べ 98 回 <昨年 101 回>
- 見守り・安否確認活動 1 地区

(5) 敬老会開催事業

《敬老会開催助成事業》

各区、高齢者施設（7か所）で開催される敬老会に対して市内の71歳以上の人口割で開催費用の助成を行った。

・助成総額 2,021,000円

《敬老祝品贈呈事業》

88歳、90歳、99歳、100歳以上の方々に祝品を贈呈した。

・贈呈対象人数 284名（昨年度267名）

(6) 生活困窮者支援事業

○「子どもの貧困について考える」フォーラム

子どもの貧困について「知ってもらうことから」として、市民、学校、企業、福祉関係者に案内してフォーラムを開催した。

実施場所 市民学習交流センター（サンヒルズ甲西）

開催日 平成28年10月1日（土）

内容 講演「子どもの貧困の現状と支援」

事例報告

湖南市の状況

来場者 約100人

共催 湖南市（住民生活相談室）

3. 受託事業 【 14,339,203円 】

(1) 障がい児ホリデースクール事業

学校の長期休暇期間中に障がい児を対象に地域やボランティアの方々とふれあいながら健やかな一日を過ごせるよう、ホリデースクールを開催した。

① 夏季休暇中の18日間（7月27日から8月26日）

参加児童生徒 延べ 230名 <昨年278名>

スタッフ 延べ 200名 <昨年245名>

ボランティア 延べ 191名 <昨年170名>

サポートボランティア 延べ 29名 <昨年33名>

※ 子どもたちとふれあう以外に調理や外出時の会場設営などで事業をサポートするボランティア

② 冬期休暇中の2日間

12月25・26日の2日間

「クリスマス会」 社会福祉センター

参加児童生徒 延べ 22名 <昨年27名>

スタッフ	延べ	24名	<昨年26名>
ボランティア	延べ	27名	<昨年28名>
サポートボランティア	延べ	0名	<昨年0名>

② 春期休暇中の2日間

3月29・30日の2日間

「バス旅行」 竜王アグリパーク

参加児童生徒	延べ	14名	<昨年22名>
スタッフ	延べ	24名	<昨年23名>
ボランティア	延べ	2名	<昨年17名>

(2) ファミリーサポートセンター事業

子育て支援のため、子ども（未就学児・小学生が対象）を一時的に保育を希望される保護者と子どもの世話ができる方がそれぞれ会員となり、ニーズに合わせて保育機会の提供を行った。

(湖南市中央一丁目38平和堂甲西中央店内)

開設日時 毎週月曜日～金曜日 10:00～17:30

《センター運営事業》

・会員交流会の開催

6月21日「ゴムバンド体操」

9月13日「布のチューリップを作ろう」

12月3日「クリスマス会」～ミニクリスマスツリーを作ろう&
お楽しみ～

延べ47名参加

・休日（土曜日）特別開所 5月14日、11月12日、3月4日

・会員、一般向け子育て研修会の開催 9月28日、10月5日

10月12日、10月19日、10月26日

延べ48名参加

・フォローアップ講座の開催

11月16日「手作りおもちゃとバルーンアート」

14名参加

・会員通信の発行（年2回）

・4か月検診へ出向き説明及び入会手続き

・平成28年度会員登録者 提供会員 85名

依頼会員 204名

両方（提供依頼兼務）会員 27名

《活動実績と内訳状況の内訳》

項目	回数	<昨年>
保育園・幼稚園の預かり、送り	29	<2>

保育所・幼稚園の迎え、預かり	125	<48>
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	1	<1>
保育所・幼稚園の帰宅後の迎え及び預かり		<2>
学童の送り	48	<9>
学童の迎え	7	<22>
放課後児童クラブ（学童保育）の迎え、預かり	4	<29>
学童の放課後の預かり	1	<4>
子どもの習い事等の場合の援助	214	<76>
保育所・学校等休み時の援助	3	<0>
保護者等の短時間・臨時の就労の場合の援助	98	<93>
保護者等の求職活動中の援助	2	<2>
保護者等の外出や他の子どもの学校行事の場合の援助	8	<22>
保護者等の病気、その他急用の場合の援助		<0>
多胎児の保育援助	3	<7>
その他	19	<11>
合 計	562	<328>

サポートボランティア 延べ 5名 <昨年19名>

(3) 社会を明るくする運動事業

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい社会を築こうとする全国的な運動を市内において展開した。

推進大会の実施 期 日 平成28年7月1日（金）

内 容 更生保護活動に関する講演
内閣総理大臣メッセージ伝達式
のぼり旗掲出活動（50本）

参加者 約80名

街頭啓発活動 7月5日 平和堂石部店前
7月6日 平和堂甲西店前
7月7日 平和堂菩提寺店前
7月7日 平和堂甲西中央店前
7月12日 イオン湖南店前

参加者 市内中学・高校生、運動関係者

(4) 生きがい活動支援通所事業（生きがい対応型デイサービス事業）

=和（なごみ）の家=

65歳以上の家に閉じこもりがちな高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施した。

実施場所 石部軽運動場（石部老人福祉センター併設）

開設日 毎週火・水曜日

登録者 20名 <昨年 21名>

年間 98回開催 延べ 928人参加 <昨年 延べ 644人>

平均 約9人/回、約77人/月 参加

利用者の送迎 928人/年

（5）高齢者生きがいサロン事業

《おたっしゃるーむ》

60歳以上の高齢者的心身の健康を維持し、閉じこもりや認知症を予防し、地域で安心して生活できることを目的に実施した。

実施場所 松籟会館（湖南市石部西二丁目12-6）

開設日 每週月・木曜日

登録者 8名 <昨年 10名>

年間 91回開催 延べ 514人参加 <昨年 延べ 605人>

平均 約6人/回、約43人/月 参加

利用者の送迎 514人/年

《みくもいきいきサロン》

65歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくりを目的に実施した。

実施場所 三雲地域人権福祉交流センター

（三雲ふれあいセンター）

開設日 毎月第1、第3金曜日

登録者 48名

年間 20回開催 延べ 253人参加 <昨年 延べ 302人>

平均 約12人/回 参加

（6）生活困窮者自立支援事業 家計相談支援事業

市住民相談室（自立相談窓口）等の各専門機関と連携し、生活困窮世帯を対象に家計管理を中心とした家計相談支援を行った。生活福祉資金貸付とも必要に応じて連携をとった。

利用世帯数	10世帯/年
相談件数	1件/年
支援件数	192件/年

4. 居宅介護事業 【 78,643,462 円 】

利用者との契約に基づき、高齢者および障がい者の居宅介護サービスを包括的に進めた。

(1) 居宅介護支援事業

介護保険制度における高齢者福祉サービスを中心に、その利用に関する相談や利用援助、また関連する高齢者事業への調整や関係機関との連携を行った。

居宅介護支援業務
利用者 延べ 125 人／半年
約 20 人／月 <昨年約 42 件／月>

(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

《訪問介護事業》

介護保険事業として、高齢者の方々を中心に、身体介護や生活援助の訪問介護サービスを提供した。

介護保険訪問	介護予防訪問
利用者 延べ 857 人／年 <昨年 1,027 人／年>	利用者 延べ 154 人／年 <昨年約 148 人／年>
約 71 人／月 <昨年 86 件／月>	約 13 人／月 <昨年 12 人／月>
訪問回数 延べ 14,268 回 <昨年 14,201 回／年>	訪問回数 延べ 731 回 <昨年 672 回／年>
約 1,189 回／月 <昨年 1,183 回／月>	約 60 回／月 <昨年 56 回／月>

(3) 障がい者総合支援事業

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供した。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 242 人／年 <昨年 216 人／年>	利用者 延べ 101 人／年 <昨年約 128 人／年>
約 20 人／月 <昨年 18 人／月>	約 8 人／月 <昨年 11 人／月>
訪問回数 延べ 1,773 回 <昨年 1,418 回／年>	訪問回数 延べ 323 回 <昨年 410 回／年>
約 148 回／月	約 27 回／月

<昨年 118 回／月>	<昨年 34 回／月>
---------------------------	--------------------------

《湖南市障がい者等移動支援事業》

屋外での移動が困難な視覚障がい者（グループ）に対して、外出のための支援サービスを提供した。

介護なし	介護あり
2対1 利用者 延べ32人／年 約3人／月 訪問回数 延べ72回 約6回／月	2対1 利用者 延べ14人／年 約1人／月 訪問回数 延べ35回 約3回／月
3対1 利用者 延べ10人／年 約1人／月 訪問回数 延べ16回 約1回／月	3対1 利用者 延べ4人／年 約0.3人／月 訪問回数 延べ7回 約0.6回／月

(4) 特定相談支援事業

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者福祉サービス等の利用計画の作成等を行った。

利用者 延べ68人／年 約7人／月

(5) 湖南市ホームヘルプサービス事業

湖南市より委託を受け、要介護認定で自立と判定された方や、介護保険事業の対象とされない方を対象に生活援助サービスを提供した。

延べ 37名、127回／年 < 昨年計 36名、158回／年>
約3名／月、11回／年 < 昨年計 3名、13回／年>

(6) 子育てホームヘルプサービス事業

《多胎児家庭ホームヘルプサービス事業》

多胎児を持つ世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施した。

延べ 22名、40回／年 < 昨年計 29名、50回／年>
約2名／月、4回／月 < 昨年計 2名、4回／月>

《子育て支援ヘルプ事業》

生後3歳までの乳幼児のいる世帯に対し、家事や通院、育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ 3名、22回／年 < 昨年計 27名、162回／年 >

約1名／月、2回／月 < 昨年計 2名、14回／月 >

(7) 特定旅客自動車運送（福祉有償）事業

特定旅客自動車運送事業者（道路運送法43条及び78条を取得）として介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施した。

延べ 336名、654回／年 < 昨年計 259名、466回／年 >

約28名／月、55回／月 < 昨年計 21名／月、39回／月 >

(8) 福祉出前講座

地域住民や自治会・団体等を対象に、社会福祉協議会の事業、ボランティア、介護などの各担当職員を講師として派遣し、市民の社会福祉協議会や地域福祉への啓発と推進のため、福祉出前講座を行った。

開催回数 12回 参加人数 398人

依頼先 老人クラブ9回、地域サロン3回、福祉団体1回

依頼内容

- | |
|---|
| ①災害ボランティアと防災用品の実演
②介護保険制度の理解
③認知症の理解
④ヘルパーによる寸劇
⑤介護予防、健康づくり体操、脳リハビリ体操 |
|---|

5. 施設管理事業 【 7,785,756円 】

(1) 社会福祉センター管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成25年度～29年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供や高齢者の健康推進事業、相談活動を行った。

=貸館状況=

年間延べ 1,245件 <昨年 988件>

平均 約104件／月 利用

(2) ふれあいの館管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成25年度～29年度）を受託し、専従の管理人を

配置して施設の貸館を含めた管理業務とともに、施設の事業として位置づけられたボランティア活動として次のような事業を行った。

《施設管理事業》

年間延べ 561 件	<昨年 延べ 632 件>
約 47 件／月 利用	

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

- 情報提供 市広報に講座開催に伴う参加者募集記事の掲載
- インターネットによる情報提供

《ボランティア教室や講座の開催、ボランティアの育成》

- シルバーパソコン教室 全 2 回 参加者 延べ 21 回
- 親子でチーパッパ！「すずめの学校」

就園 1 年前の幼児親子とボランティアとの交流を目的として開催
毎月第 2 木曜日 10:00~12:00

全 12 回 参加者 延 380 名
約 31 名／回 参加

お母さんのための勉強会の開催 参加者 15 名

- こどもクラブ

就園児・小学生親子とボランティアとの交流を目的として開催
不定期（春・夏・冬休み・土曜日など）

全 12 回 参加者 延 304 名
約 26 名／回 参加

《たまり場事業》

毎週月曜日 1 時 30 分より「ふれあいさろん」を開催
(手芸・囲碁などを通じて交流)

《その他》

- 備品貸し出し 囲碁ゲームセット・本・遊具など

6. 善意銀行事業 【 772,731 円 】

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については地区活動助成事業やボランティアセンター活動事業に役立て、また米や物品などは生活困窮者や施設への提供あるいは本会やボランティア活動に提供するなど、多方面へ役立てた。

寄付総額 2,459,720 円 < 昨年 3,204,888 円 >
寄付物品 梯子、米等

《催し物器具の貸出事業》

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出した。

また、利用の多い器具を新調した。

・貸出件数 合計 93 件

	かき氷機	綿菓子器	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
28 年度	28 件	27 件	19 件	5 件	14 件
<昨年度>	(29 件)	(28 件)	(14 件)	(0 件)	(8 件)

《福祉機器貸出事業》

車椅子の貸し出し 貸出回数 54 回 (29 年 3 月末現在)

《福祉自動販売機設置事業》

社会福祉センター、老人福祉センターに自動販売機を設置し、設置手数料を福祉事業への財源確保に努めた。